

## 『早稲田大学高等研究所紀要 第5号』刊行にあたって

早稲田大学高等研究所は、次代を担う若手研究者の育成と大学の研究教育活動の活性化を目的に、2006年9月に設立されました。これまでに約60名の若手研究者を、本学を含む国内外の大学・研究機関等へ送り出してきましたが、それぞれ各分野における第一線で活躍しています。

本研究所は、文系・理系を問わず広く世界から若手研究者を公募し、自立的な研究環境に加え、分野が異なる研究者との活発な交流の中で研究を進める点を特徴としています。現在は、人文、社会、自然科学分野を合わせて40名近くの若手研究者が所属し、柔軟な発想や能力・資質を十分に発揮した研究活動を展開しています。

また本研究所では、海外のトップクラスの研究者を訪問研究者として受け入れ、若手研究者への助言や学内研究者との交流を通じて、本学の研究活動の活性化を図っています。さらには、多様な研究者の連携・協働による学際的で横断的な研究の拠点となるべく、本学専任教員（兼任研究員）を中心とした研究プロジェクトを推進することなどによって、本学の研究水準向上に貢献するための努力を続けております。

さて、本紀要もこのたび第5号を刊行する運びとなりました。今号も、最新の研究成果と重要な資料・情報を含む、多様な内容になったものと思います。日頃ご協力・ご支援をいただいております皆様には、厚くお礼申し上げます。もとより本紀要に所載の論文については、学内外の複数の専門研究者による厳正な査読を課し、さらに英文の要旨を付す等、学術誌としての水準の維持向上に努めています。また冊子での刊行に加え、本研究所のWebサイトでも公開し、より広く閲覧の便に供しています。

本紀要が、現在所属する若手研究者だけではなく、これまで研究所に所属した研究者（所友）など、研究所に集った多くの研究者が切磋琢磨する研鑽の場となり、かつその成果を早稲田から世界に発信する場になれば、これに勝る喜びはありません。今後とも皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

2013年3月

早稲田大学高等研究所

所長 宮島 英昭

副所長 鈴木 雅雄